（表）

別記様式第一　　（整理番号　令和　　年　　号）

# 被害回復給付金支給申請書

福岡地方検察庁　検察官　殿　　令和　　年　　月　　日

申請人　フリガナ 氏名又は名称　　㊞

生年月日　　年　　月　　日（　　歳）

住所（〒　　－　　）

（電話番号又はミニフリクアの番号　　－　　－　　）

代表者又は管理人　フリガナ 氏名

生年月日　　年　　月　　日（　　歳）

住所（〒　　－　　）

（電話番号又はミニフリクアの番号　　－　　－　　）

代理人（法定代理人又は弁護士）　フリガナ 氏名又は名称　　㊞

生年月日　　年　　月　　日（　　歳）

住所（所在地）（〒　　－　　）

（電話番号又はミニフリクアの番号　　－　　－　　）

次のとおり被害回復給付金の支給を申請します。

| | | |
|---|---|---|
| 被害者 | 被害にあった者は　□　申請人（被害者欄の下記事項についての記入は不要です。）<br>□　その他の者（被害者欄の下記事項につき記入してください。） | |
| | フリガナ 氏名又は名称<br>生年月日 | 年　　月　　日（　　歳） |
| | 住所 | （〒　　－　　） |
| 一般承継人 | 一般承継の理由及びその年月日 | 年　　月　　日<br>により承継した。 |
| | 被害者との関係 | |
| 支給手続番号 | | 福岡地方検察庁　令和８年第６号 |
| 被害にあわれた年月日 | | 別紙のとおり |
| 被害にあわれた場所 | | 別紙のとおり |
| 犯人の名前又は団体名 | | 別紙のとおり |

（裏）

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| 被害にあわれた状況 | 別紙のとおり | | | |
| 支給を受けようとする金額 | 犯罪行為により失われた財産の価額 | 円<br>（価額算定の根拠） | | |
| | 控除対象合計額 | 円 | | |
| | （内　訳） | | | |
| | てん補又は賠償を受けた年月日 | てん補又は賠償をした者の氏名又は名称（犯人との関係） | てん補又は賠償を受けた者の氏名又は名称（被害者等との関係） | てん補又は賠償額 |
| | 令和　年　月　日 | （　　） | （　　） | 円 |
| | 令和　年　月　日 | （　　） | （　　） | 円 |

| | | |
|---|---|---|
| 支給を受けるべき被害回復給付金の額の割合についての合意の有無及びその内容 | □　合意はない　　□　以下の合意がある | |
| | 施行規則第８条第１項第８号に定める他の申請人等の氏名又は名称及び住所等 | フリガナ<br>氏名又は名称<br>住　所（〒　－　）<br>（電話番号又はファクシミリの番号　－　－） |
| | 合意の内容 | |

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| 払渡しを受ける機関その他のその払渡しを受けるために必要な事項 | 預（貯）金口座 | 口座名義人 | フリガナ | |
| | | | 氏名（法人の名称） | |
| | | | 住(居)所等 | |
| | | 金融機関 | 銀行・金庫・信用組合・協同組合　本店（所）・支店（所）・出張所 | |
| | | | 預金種別 | 1．普通預金　2．当座預金 |
| | | | 口座番号 | |
| | | 郵便局 | 通帳記号 | |
| | | | 通帳番号 | |
| | その他の必要な事項 | | | |

（注意）　□印のある欄については、該当の□印の中にレを付けること。

被害状況別紙

| 番号 | 犯人が名乗った名前、職業 | 犯人が話した内容 | 被害にあわれた年月日（犯人にキャッシュカードを渡した年月日） | 犯人に渡したキャッシュカードの内容 | | | 引き出された額 | 疎明資料の種類 | 被害当時の氏名及びフリガナ（氏名を変更された理由） |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | | 金融機関支店名 | 口座名義人 | 口座番号 | | | |
| | | | 令和　年　月　日 | 銀行<br>支店 | | | 円 | | （　　） |
| | | | 令和　年　月　日 | 銀行<br>支店 | | | 円 | | （　　） |
| | | | 令和　年　月　日 | 銀行<br>支店 | | | 円 | | （　　） |

| 合計金額 | 円 |
|---|---|

←「引き出された額」欄に記載した金額の合計を記入してください。「被害状況別紙」1頁ごとに合計額を記入してください。

| 番号 | 犯人が名乗った名前、職業 | 犯人が話した内容 | 被害にあわれた年月日（犯人にキャッシュカードを渡した年月日） | 犯人に渡したキャッシュカードの内容 | | | 引き出された額 | 疎明資料の種類 | 被害当時の氏名及びフリガナ（氏名を変更された理由） |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | | 金融機関支店名 | 口座名義人 | 口座番号 | | | |
| | | | 令和　年　月　日 | 銀行<br>支店 | | | 円 | | （　　） |
| | | | 令和　年　月　日 | 銀行<br>支店 | | | 円 | | （　　） |
| | | | 令和　年　月　日 | 銀行<br>支店 | | | 円 | | （　　） |

| 合計金額 | 円 |
|---|---|

←「引き出された額」欄に記載した金額の合計を記入してください。「被害状況別紙」1頁ごとに合計額を記入してください。

# 被害回復給付金支給申請書記載例

□ の中はすべて記入してください。

別記様式第一　　（整理番号　　令和８年　　号）

## 被害回復給付金支給申請書

福岡地方検察庁　検察官　殿　　令和 ８ 年 ■ 月 ■ 日

申請人　フリガナ　氏名又は名称　検　察　太　郎　㊞

生年月日　昭和 〇 年 〇 月 〇 日（ 〇〇 歳）

住所（〒８１０－８６５１）

福岡市中央区六本松四丁目２番３号

電話番号又はミフリの番号　（自宅）〇〇〇 － 〇〇〇 － 〇〇〇〇
（携帯）×××－×××－××××
（FAX）▲▲▲－▲▲▲－▲▲▲▲

代表者又は管理人　フリガナ　氏名

生年月日　　年　　月　　日（　　歳）

住所（〒　　－　　）

電話番号又はミフリの番号　　－　　－

代理人（法定代理人又は弁護士）　フリガナ　氏名又は名称　　㊞

生年月日　　年　　月　　日（　　歳）

住所（所在地）（〒　　－　　）

電話番号又はミフリの番号　　－　　－

次のとおり被害回復給付金の支給を申請します。

| | | |
|---|---|---|
| 被害者 | 被害にあった者は | ☑ 申請人（被害者欄の下記事項についての記入は不要です。）<br>☐ その他の者（被害者欄の下記事項につき記入してください。） |
| | フリガナ　氏名又は名称<br>生年月日 | 年　月　日（　歳） |
| | 住所 | （〒　－　） |
| 一般承継人 | 一般承継の理由及びその年月日 | 〇 年 〇 月 〇〇 日　検　察　二　郎　逝　去　により承継した。 |
| | 被害者との関係 | |
| 支給手続番号 | | 福岡地方検察庁　令和８年第６号 |
| 被害にあわれた年月日時 | | 別紙のとおり |
| 被害にあわれた場所 | | 別紙のとおり |
| 犯人の名前又は団体名 | | 別紙のとおり |

裏面へ続きます

**申請書作成日を記入。**

**〇申請人記入欄**

**被害にあった本人・法人・団体又はその一般承継人**が記入(自署)・押印してください。
※「一般承継人」とは，被害者本人から，その財産などを相続された方などのことを言います。
**★添付書類必要**
**「添付書類確認シート」**①を確認してください。

**〇代理人記入欄**

被害者が未成年の場合などに，その親＝**法定代理人**が手続を代理することもできます。
また，代理人を**弁護士**に委任することもできます（弁護士費用はご負担ください）。

**申請される方が**

※「**被害者本人**」の場合
「**申請人**」に✓
※「**一般承継人**」の場合
「**その他の者**」に✓

**一般承継人の方のみ**記入してください。

**〇被害状況記入欄**

被害状況を詳細に記入していただく必要があるため，**被害状況を同封の「被害状況別紙」に記入し，**この申請書とともに提出してください。

法人又は団体の場合，その名称，住所，電話番号を記入し，社判・団体印を押印してください。

申請人が法人又は団体の場合に代表者又は管理人の氏名・住所等を記入してください

代理人が弁護士であるときは，その氏名，事務所の名称・所在地のほか，氏名欄に「登録番号」も記入してください。

**すべての方がどちらかに必ず✓してください。**

**申請期限　令和9年1月4日**

| 被害にあわれた状況 | 別紙のとおり |
|---|---|
| 支給を受けようとする金額<br>犯罪行為により失われた財産の価額 | ０００，０００　円<br>（価額算定の根拠） |
| 控除対象合計額 | ０　円 |
| （内　訳） | |
| てん補又は賠償を受けた年月日 | てん補又は賠償をした者の氏名又は名称（犯人との関係） / てん補又は賠償を受けた者の氏名又は名称（被害者等との関係） / てん補又は賠償額 |
| 年　月　日 | （　　）/（　　）/ 円 |
| 年　月　日 | （　　）/（　　）/ 円 |

| | |
|---|---|
| 支給を受けるべき被害回復給付金の額の割合についての合意の有無及びその内容 | ☑ 合意はない　☐ 以下の合意がある |
| | 施行規則第８条第１項第８号に定める他の申請人等の氏名又は名称及び住所等<br>フリガナ<br>氏名又は名称<br>住所（〒　－　）<br>電話番号又はファクシミリの番号　－　－ |
| | 合意の内容 |
| 払渡しを受ける機関その他のその払渡しを受けるために必要な事項 | 預（貯）金口座<br>口座名義人<br>フリガナ　ｹﾝｻﾂ　ﾀﾛｳ<br>氏名（法人の名称）　検　察　太　郎<br>住(居)所等　福岡市中央区六本松四丁目２番３号<br>金融機関　○　○　銀行 金庫 信用組合 協同組合　△　△　本店（所） 支店（所） 出張所<br>預金種別　1．普通預金 2．当座預金<br>口座番号　1 2 3 4 5 6 7<br>郵便局　通帳記号　通帳番号 |
| | その他の必要な事項 |

（注意）　☐印のある欄については、該当の☐印の中にレを付けること。

**○犯罪行為により失われた財産の価額記入欄**

「被害状況別紙」に記入された「欺されて手渡した金額」の合計額を記入してください。

**○てん補又は賠償関係記入欄**

犯人又はその弁護人などから，被害額のてん補又は賠償を受けていない場合は「控除対象合計額」欄に「０」と記入してください。

被害額のてん補又は賠償がされた場合は内訳を記入し「控除対象合計額」欄にその合計額を記入してください。

★添付書類必要
「添付書類確認シート」②を確認してください。

※「てん補又は賠償」とは，犯人側から被害者側に対し，損害補填・示談・賠償金などの名目で支払われた金銭のことです。

**○給付金額の割合に関する合意の有無**

ほかの被害者(申請人)との間で，給付金の支給を受けることとなった場合の支給割合について，何も合意をしていない場合は「合意はない」に✓してください。その場合，次欄は記入不要です。

何らかの合意がある場合のみ「以下の合意がある」に✓し，その内容を次欄に記入してください。

★添付書類必要
「添付書類確認シート」③を確認してください。

**○被害回復給付金の振込先口座記入欄**

この口座は，申請人本人名義のものに限ります。記入した口座の通帳又はキャッシュカードの写しが必要です。

★添付書類必要
「添付書類確認シート」④を確認してください。

口座が開設できないなど，やむを得ない事情がある場合に記入する欄です。

**申請書は，記載例をよくお読みの上ご記入し，被害状況別紙とともに，必要な書類を添付して申請してください。**
**添付書類については，同封の「添付書類確認シート」で必ずご確認願います。**

| 注意 | 申請書又は添付書類に虚偽の記載をして提出した者は，50万円以下の罰金に処することとされています。 |
|---|---|

**被害状況別紙記載例**

| 番号 | 犯人が名乗った名前、職業等<br>**記入要領** | 犯人が話した内容 | 被害に遭われた年月日（犯人にキャッシュカードを渡した年月日） | 犯人に渡したキャッシュカードの内容 | | | 支払（振込）額 | 疎明資料の種類 | 被害当時の氏名及びフリガナ<br>（氏名を変更された理由） |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | | 金融機関支店名 | 口座名義人 | 口座番号 | | | |
| | **１回の振込ごとに１つの行を使ってください。１つ上の欄と内容が同じ場合は「〃」の記載で構いません。** | | | | | | | | |
| **被害ごとに通し番号を記載してください。** | **犯人が名乗った名前や職業等を記載してください。（分からない場合は「不明」と記載してください。）** | **犯人が話した内容を記載してください。（正確に分からない場合、資料がない場合でも、覚えている範囲で記載してください。）** | **犯人にキャッシュカードを渡した年月日を記載してください。（正確に分からない場合、資料がない場合でも、覚えている範囲で記載してください。）** | **犯人に渡したキャッシュカードの金融機関名と支店名を記載してください。（分からない場合は、「不明」と記載してください。）** | **犯人に渡したキャッシュカードの名義人を記載してください。（分からない場合は、「不明」と記載してください。）** | **犯人に渡したキャッシュカードの口座番号を記載してください。（分からない場合は、「不明」と記載してください。）** | **犯人から引き出された金額を記載してください。** | **犯人へキャッシュカードを渡したことや犯人から現金を引き出されたことを証明する資料の種類（振込明細書、通帳の写し等）を記載してください。** | **被害当時から氏名を変更されている場合、被害当時の氏名及びフリガナを、()内に変更された理由を記載して下さい。** |
| | 以下記入例です | | | | | | | | |
| *1* | *〇〇〇〇（金融庁職員）* | | *令和7年2月26日* | *〇〇銀行〇〇支店* | *□□□□* | *1234567* | *２０万円* | *預かり証の写し* | |
| *2* | *不明* | | *令和7年2月頃* | *〇〇銀行〇〇支店* | ●●●● | *2345678* | *１５０万円* | *通帳の写し* | |
| *3* | *〇〇〇〇（〇〇警察署警察官）* | | *令和7年2月頃に電話があり、その日に自宅に来た犯人に渡した。* | *〇〇銀行〇〇支店* | *△△△△* | *0123456* | *３万円* | *通帳の写し* | |
| *4* | *不明* | | *令和7年2月１日～令和7年2月２６日頃まで* | *不明* | *不明* | *不明* | *１００万円* | *通帳の写し* | |

| 合計金額 | 円 |
|---|---|

←「支払（振込）額」欄に記載した金額の合計を記入してください。「被害状況別紙」１頁ごとに合計額を記入してください。

# 添付書類確認シート

下欄①～④の書類を申請書に添付してください。

## ① 本人確認書類

官公庁等から発行されたもの又は法令に基づいて発行されたもので、申請書に記入した氏名、住所、生年月日が記載され、申請の日に有効なものの写し1部

（例） ・運転免許証 ・健康保険被保険者証 ・住民基本台帳カード ・在留カード ・マイナンバーカード
・旅券(パスポート) ・年金手帳 ・個人番号カード などの写し

被害者本人以外による申請の場合、申請日前6か月以内に作成された戸籍（附票を含む）謄・抄本又は除籍謄・抄本（写しは認められません）が必要となる場合があります。

※ 申請人別に、必要な書類は次のとおりです。

| 被害者本人による申請 | 一般承継人による申請 | 法定代理人による申請 | 弁護士による申請 |
|---|---|---|---|
| 被害者本人の本人確認書類 | 一般承継人の本人確認書類 | 被害者本人の本人確認書類 | 被害者本人の本人確認書類 |
| 法人・団体である場合は、登記事項証明書又は印鑑登録証明書及び代表者・管理人の本人確認書類 | 被害者本人との関係を明らかにする除籍謄本 | 法定代理人の本人確認書類 | 代理権を証明する委任状など |
| | | 被害者本人との関係を明らかにする戸籍謄本又は審判書謄本など | |

※ 補足資料が必要となる場合

運転免許証等の記載事項変更手続を行っていないなど、申請書に記載した氏名、住所と本人確認書類に記載されている氏名、住所が異なっている場合には、被害者本人であることや被害者との関係を確認するため、以下のような補足資料が必要となります。

【氏名が異なる場合】

改姓・名の前後過程を確認できる戸籍謄本又は抄本の提出をお願いします。（なお、本人確認書類の戸籍謄抄本又は除籍謄本と内容が重複する場合は必要ありません。）

【住所が異なる場合】

住民票、申請書に記載された氏名、住所と同一の氏名、住所が記載されている公共料金領収書などの写しが必要となります。

## ② てん補又は賠償を受けた金額が確認できる書類

お金を支払った相手である犯人又は弁護人などから一部被害弁償等を受けている場合は、その額を特定できる示談書や領収証，通帳などの写しを添付してください。

## ③ 他の申請人との間で合意があることが確認できる書類

他の申請人又は申請人となるべき者との間で、各人が支給を受けるべき被害回復給付金の額の割合について合意があるときは、その合意書面などの写しを添付してください。

## ④ 申請人名義の預(貯)金口座であることが確認できる書類

通帳（金融機関・支店名、預金種目、口座名義人、口座番号等が記載されている部分のみで可）又はキャッシュカード（表面のみで可）の写しを添付してください。